

(一財)建設業振興基金における 担い手確保・育成に関する取り組み

平成28年12月7日

一般財団法人 建設業振興基金

経営基盤整備支援センター

人材育成支援総括研究部長 田尻 直人

- 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム P1～7
 - (1)プログラム・教材等の整備
 - (2)職業訓練校ネットワークの構築

- 建設産業人材確保・育成推進協議会(人材協)との連携 P8～15
 - (1)若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進
 - (2)担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

- 建設労働者緊急育成支援事業との連携 P16～22
 - (1)事業の概要
 - (2)主な取り組み事例
 - (3)建設労働者緊急育成支援事業 求職求人支援システム

(参考)建設産業担い手確保・育成コンソーシアムの役割と位置づけ

建設産業の総合的な人材確保・育成対策(建設産業活性化会議中間とりまとめ:H26.6)

1. 技能者の処遇改善の徹底

2. 誇り(若手の早期活躍の推進)

3. 将来性(将来を見通すことのできる環境整備)

4. 教育訓練の充実強化
ハード・ソフト機能の充実強化

5. 女性の更なる活躍の推進

6. 建設生産システムの省力化・効率化・高度化

建設産業人材確保・育成方針策定会議

最終報告:H25.11

事務局:(一財)建設業振興基金

・全国各地域における教育訓練体系の構築
・中核的センターの確立 等

ソフト事業の充実・強化の一翼を担うため

「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」を設置(H26.10)

【コンソーシアム事業の概要】

地域連携ネットワークの構築支援

・地域における総合工事業団体、専門工事業団体、職業訓練校、教育機関、行政等からなる地域連携ネットワークを構築
・担い手確保・育成のための各種事業を実施

地域連携ネットワークにおける持続可能な教育訓練システムの構築につながる取組み

●プログラム・教材の提供
●広報コンテンツの提供
●情報共有 等

地域連携ネットワーク事業の具体化につながる一方策

中核的機能

教育訓練等基盤の充実・強化

・プログラム・教材等の整備
・講師の養成支援
・担い手確保・育成に関する情報等の集約及び提案
・若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進のためのコンテンツ整備

●プログラム・教材等の提供
●講師養成支援
●情報共有

職業訓練校のネットワークの構築

富士教育訓練センターを中心とする職業訓練校ネットワークを設置し、情報交換、相互協力を推進

●広報コンテンツの構築・活用
●情報共有

【建設労働者緊急育成支援事業】

- 厚生労働省受託事業
- 平成27年度からの5カ年事業
- 平成27、28年度は(一財)建設業振興基金が受託

【事業内容】

離転職者、未就職者等の建設業への入職を促進するため、当財団や地域の建設業団体が中心となって、関係機関と連携の下、求職者の「募集・職業訓練・就職斡旋」をパッケージにより実施。

【建設産業人材確保・育成推進協議会】

設立:平成5年(事務局:(一財)建設業振興基金)

目的:若年者の就業促進、人材の育成・定着、その他建設産業における人材対策を推進

【主な事業】

作文コンクール、建設業界ガイドブックの発行、学校キャラバン、子ども霞が関見学デー、WEB「建設現場へGO!」におけるコンテンツ拡充など、近年は広報事業を中心に展開

建設産業担い手確保・育成コンソーシアムアクションプログラム(第3版)の概要

アクションプログラム(第3版)の基本的考え方

これまでのコンソーシアム事業の成果を踏まえ、野丁場系の技能者に当面の重点を置き、本コンソーシアム及び富士教育訓練センターが中核的機能を担いつつ、全国的な教育訓練体系を構築することを目指すこととし、平成28年度において具体的な取組みを更に拡充・発展させ、持続可能な教育訓練体系等の仕組みを構築する。

事業内容

1. 地域連携ネットワークの構築支援

地域の関係者が一体となって教育訓練体系を構築することを目指し、地域における担い手確保・育成のためのネットワーク構築を支援する。

(1) 地域連携ネットワークの新たな支援先の選定等

平成28年度は、新たに10件追加し、ネットワーク構築に向けた取組みを支援(計36団体)

(2) 地域連携ネットワークへの情報提供等及び事業推進に係る課題の整理

地域や取組み内容等の特性に応じ、持続可能な取組みとなることを目指し、関係団体等との連携のあり方や講師の確保・育成方法、国や県等の助成金の活用方策等について検討

2. 教育訓練等基盤の充実・強化

教育訓練における中核的機能の役割を果たすため、関連機関と連携して、プログラム・教材や広報等の教育訓練基盤の充実・強化を図る。

(1) 職業能力基準及びプログラム・教材の拡充整備

① 職業能力基準の普及・定着等

- ・職業能力基準(「共通編」・「躯体系4職種(とび)(鉄筋)(型枠)(左官)」のレベル1及びレベル4の内容検証に重点を置き、実効性の検証及び課題等の抽出
- ・関連団体等のニーズやアンケート結果を踏まえつつ、対象職種の順次拡大を図るとともに、技術者に近い業務を担うことや経営面へ参画等も視野に入れ、さらに職業能力基準を検討

② 新規入職・プレ入職向け教育訓練の基本プログラム・教材の試行と充実

- ・パワポ教材「建設現場で働くための基礎知識(仮称)」について、建設労働者緊急育成支援事業や各団体等の教育訓練や講習等で試行的に活用し、有効性の検証及び課題抽出
- ・プレ入職向け「建築躯体系職種体験実習カリキュラム」について、富士教育訓練センターにおいて試行的実施

③ 工業高校等教員の実習プログラムの検討

- ・教員免許更新制度における免許更新講習のプログラムでの利用を視野に入れた検討 等

(2) 担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

- 「担い手確保・育成取組み事例集」において、地域の取組みをより効果的に支援するため、更に事例収集について充実強化

(3) 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

① 人材協が運営するWEBサイトの拡充

- 「18歳のハローワーク」、「建設産業で働く女性がカッコイイ」等の拡充

② その他広報素材の充実

- 「建設業界ガイドブック2016」について、教育機関等へ提供。電子ライブラリーの素材(写真・イラスト等)を約500件程度追加

3. 職業訓練校ネットワークの拡充

富士教育訓練センターを中核とした「建設関連職業訓練校等連絡会議」において、情報交換、相互協力を推進する。

① 地域における職業訓練校等の講師発掘・養成の支援

富士教育訓練センターとの連携による講師養成の支援

② 職業訓練校等の講師情報の共有

職業訓練校等の講師情報の集約・共有

・教育訓練等基盤の充実・強化

(1)プログラム・教材等の整備

趣旨

全国各地域における教育訓練体系の構築を支援するため、地域連携ネットワーク等の建設産業の担い手確保・育成に取り組む関係団体・機関が、知見やノウハウ、様々な資源を活用して、効果的な教育訓練を行うことができるような条件整備を図っていくことが必要。

このため、教育訓練について、対象レベルに準拠した以下のようなフレームワークを構築。

- 職種ごとに求められる職業能力を可視化・体系化した簡易な基準の整備。
- 上記基準に基づいた、教育訓練の対象・内容のマッチング、必要となるプログラム・教材を整備。

職業能力基準の整備

- 職種ごとに技能者の能力をレベル1（見習い技能者）、レベル2（中堅技能者）、レベル3（職長・熟練技能者）、レベル4（登録基幹技能者）の各レベルに段階的に分類した上で、それぞれのレベルで求められる職務・技能、資格等について体系的に整理。
- 上記に加えて、担い手確保の観点から、入職前の生徒・未就職者等も視野に入れ、プレ入職と位置付け、建設産業への入職促進に向けた教育訓練についても体系化。

【職業能力基準（案）の技能者レベル】

職業レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	+	プレ入職
名称	見習い技能者	中堅技能者	職長・熟練技能者	登録基幹技能者		高校生等の将来の担い手
経験年数（目安）	3年まで	4～10年	5～15年	10～15年以上		未経験

職業能力レベルに対応したプログラム・教材等の整備

教育訓練実施状況の検証

- 各地域の主な職業訓練施設における既存プログラム・教材の検証を行うこととし、特に若年者の教育訓練を強化する観点から、レベル1に対応したプログラム・教材の内容を重点的に検証。
- 各建設業団体において、プレ入職を対象として実施されている職業体験・出前講座等の教育訓練プログラムについて、取組状況の把握。

プログラムの整備の方向性

- レベル1、プレ入職に対応した、基礎的な知識・技能を教育するための汎用的な教材・プログラムが極めて少ない。
 - プレ入職向けのプログラムは専門工事業の体験実習、出前講座が中心で、建設業への理解や工事の流れを総合的に体験できる実習が極めて少ない。
- ↓
- まずは入職前後のプレ入職・レベル1初期を対象とし、汎用性のあるプログラム・教材等の整備に着手。

職業能力基準(案)の作成（共通編・職種別）

職業能力基準（案）

○「共通編」それぞれのレベル・技能者像を踏まえ、知識、社会性及び適性の各分野に分けて、各レベルに応じて求められる能力を段階的に整理し、その上で、建設現場に関わる職種に共通して求められる施工図、安全管理、現場管理、段取りと作業管理を合わせて作成。

○「職種別」平成27年度より、先行して建築躯体系職種（とび、鉄筋、型枠、左官）を取り上げ、それぞれの専門工事業団体とも連携を図りながらプログラム・教材等WGにおいて検討を重ねて作成。平成28年度は、上記4職種の検証を図るほか、新たに内装仕上工事、電気工事、機械土工工事、管工事の職業能力基準(案)の整備に向け活動中。

【職業能力基準「共通編」(抜粋)】

職業レベル		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
名称		見習い技能者	中堅技能者	職長・熟練技能者	登録基幹技能者
経験年数（目安）		3年まで	4～10年	5～15年	10～15年以上
対象技能者イメージ		指示された作業を、手順に基づき他の作業者と一緒に実施する能力	分担された作業を手順に基づいて正確に実施する能力及び、職種によっては施工図を作成し、上司の確認を得て自分で加工する能力。	現場管理や工法、技術等について元請管理者と協議し、作業手順を組立て、作業員への確かな指示・調整等を行う。	高度な技術力を有し、現場管理や工法、技術等について元請管理者と協議出来る。また他職種との調整などQCDSの総合的な管理ができる。
知識	建設業全般	<ul style="list-style-type: none"> 建設業の社会的役割等を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業の社会的役割等の基本を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業の社会的役割等の基本を説明できる その時点での建設業に関連する社会問題が理解できる <small>（例：社会保険未加入問題、重層下請問題など）</small>	<ul style="list-style-type: none"> その時点での建設業に関連する社会問題を理解し、部下に説明することができる <small>（例：社会保険未加入問題、重層下請問題など）</small>
	建設業の知識	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法 工事概要 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法 工事概要 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法 工事概要 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法 工事概要
	用語・ルール、現場作業	<ul style="list-style-type: none"> 現場のルールを理解している 作業に必要な基本的な用語や名称、用途を理解している 作業の進め方を覚えるよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 職長の指示に従って仕事が進められる 作業に必要な用語や名称、用途を理解し、若年技能者を指導できる 作業工程に従って作業が進められる 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の進め方の指示を技能者に正確に指示できる 元請や他業種に関連する用語や名称等を十分に理解し、指示ができる 元請管理者と作業の進め方・工程の組立等の打合せができる 	<ul style="list-style-type: none"> 元請に現場ルールを確認し、職長を通じて技能者に指示できる 施工図を基に工法や材料を選定し、転用計画を含め適切な作業計画を元請に立案できる
社会的責任及び適性					
施工図					
安全管理					
現場管理					
段取りと作業管理					
資格	職業能力開発促進法	○ 3級○○○技能士	○ 2級○○○技能士	○ 1級○○○技能士	※ 職業訓練指導員
	労働安全衛生法	◎ ○○○特別教育	◎ ○○○技能講習		
	建設業法		← ○※ 2級○○施工管理技士 →	← ※ 1級○○施工管理技士 →	○ 登録○○○基幹技能者 (監理技術者)
		← (主任技術者) →			

注) 資格欄について、各レベルの技能者像に求められる職業能力開発促進法、労働安全衛生法、建設業法、建築士法等の資格を「◎：当該業務に従事する上で必須の資格」「○：技能レベルを判断する資格」「※：ステップアップしていく上で取得が望ましい資格」の3つに分類。

建築躯体系 新規入職者向けの教材開発

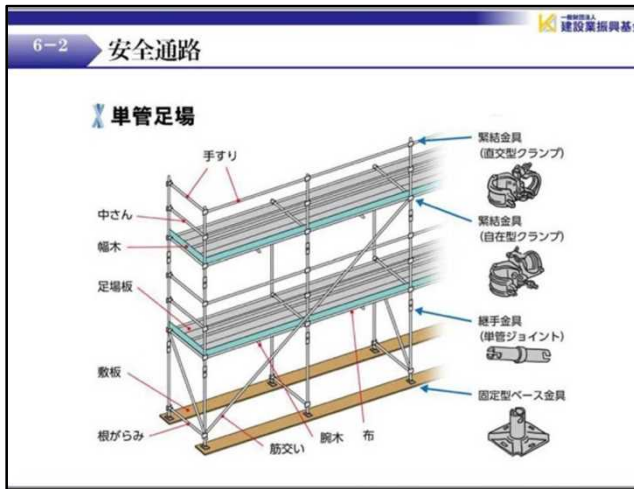
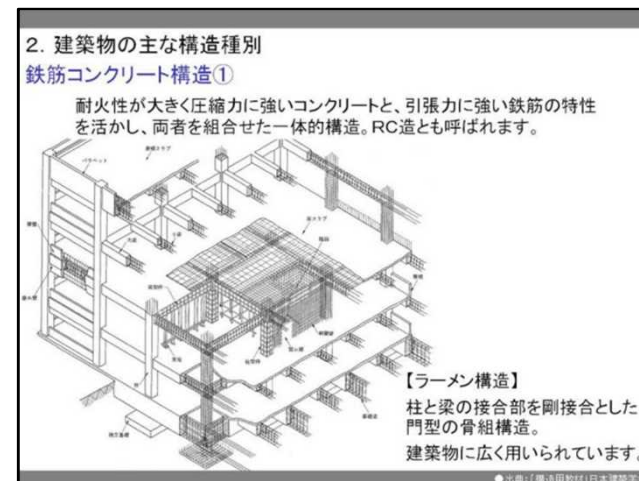
基礎的な知識・技能の教育訓練における汎用的な教材の整備

- 主に建築躯体系新規入職者（レベル1）や入職希望者を対象とした教育訓練での利用を念頭に作成。構成は、建設業の役割や魅力、建築物の構造種別、施工体制、専門職種を紹介、安全・安心への取組み、図面や道具等についての分かりやすい解説等を掲載。
- 建築躯体系職種に留まらず、他の職種や現場管理等の技術職、入職前後の教育訓練での利用も可能。

【建設現場で働くための基礎知識（仮称）の概要】

目次

1. 建設業の役割とその魅力
2. 建築物の主な構造種別
3. 施工の体制と工事の流れ
4. 現場で活躍する専門職種の紹介
5. 建設現場の安全
6. 作業現場に入場する際の注意点
7. 建設現場作業に関する共通事項(図面等)
8. 仮設（足場・仮囲い）の共通事項
9. 工具と材料の共通事項
10. 現場作業の技能の基礎



プレ入職を対象とする建築躯体系職種体験実習カリキュラム（試案）

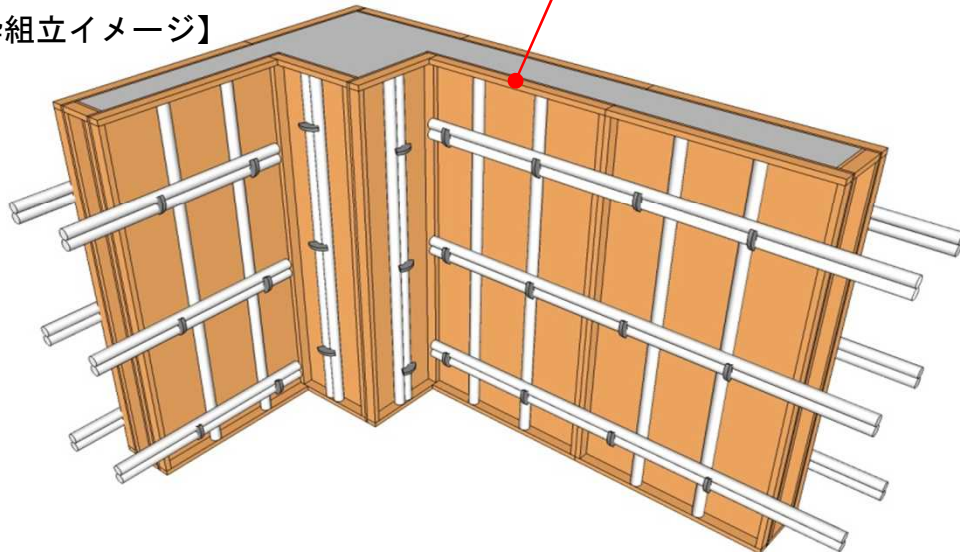
建築躯体系職種の基本に共通する標準化されたカリキュラムの検討

- 建築躯体系職種の体験実習カリキュラム（実習用モデルを含む）について、躯体系職種の基本に共通する標準化されたものとして、全国各地での実施等、広く活用できることを念頭に作成。
- 工業高校、大学等での単位に必要な学習時間（一単位/高校:1750分、大学:45時間）を満たす48時間（8時間×6日間）のプログラム。
- 仮設・鉄筋・型枠工事实習は順次組立を行う実習用モデルを用い、建築躯体工事における一連の流れを理解できる内容として作成。
- 座学については、「建設現場で働くための基礎知識（仮称）」の利用を想定。
- 実習内容として、「足場の組立て等の業務に係る特別教育」及び「雇い入れ時安全衛生教育」を想定。

【カリキュラム日程・実習用モデルイメージ】

- 1日目：学科、足場の組立て等特別教育
- 2日目：学科、道具の使い方、基準墨
- 3日目：仮設工事（学科・実習）
- 4日目：鉄筋工事（学科・実習）
- 5日目：型枠工事（実習）
- 6日目：躯体系共通実習、学科

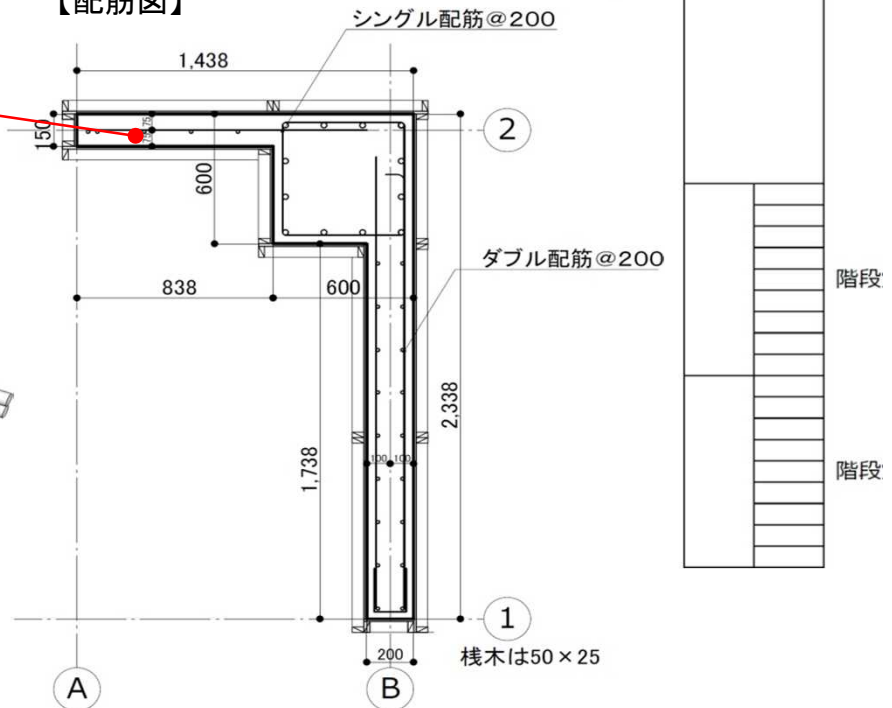
【型枠組立イメージ】



【枠組足場平面図】

枠組足場
1800×1200

【配筋図】



(2)職業訓練校ネットワークの構築

○建設関連職業訓練校等連絡会議の開催

職業訓練校間の情報交換、相互協力、その他共同事業の展開等を推進する場として、「建設関連職業訓練校等連絡会議」を設置。

第1回会議（平成26年12月10日）

開催地：富士教育訓練センター（静岡県富士宮市）

第2回会議（平成27年7月31日）

開催地：浜離宮建設プラザ（東京都中央区）

第3回会議（平成28年10月31日～11月1日）

開催地：職人育成塾（香川県高松市）



○地域における職業訓練校等の講師養成の支援

地域における教育訓練を効果的に実施するためには、講師の発掘・養成が不可欠。このため、富士教育訓練センターにおいて、講師養成のための教育訓練現場実習プログラム（以下「実習プログラム」）を試行的に実施。

実習プログラムの内容は、富士教育訓練センターで実施している技能実習コースの座学及び技能訓練に、各地域における講師候補者が講師補助として立ち会い、教育訓練カリキュラムや使用している教材等を把握し教授方法や心構えを修得させる。

(3)その他

○専門工事業の技能実習を中心とした教員免許更新制度に対応する更新講習

（主に工業高校の教員を対象にした実務体験研修＋教員免許更新にも対応できる講習の検討）

カリキュラム全体イメージ

・座学・・・「建設現場で働くための基礎知識(仮称)」の利用を想定し、建設業の基礎知識、安全衛生全般、現場作業の基礎等、現在の建設業についての基礎的な内容の講習とする。

・実習・・・教員は実務経験の場が限定されていることから、生徒の学習指導・進路指導等の指導力向上につなげるため、建設現場で使用されている鉄筋・型枠工事の資材・工具を用い、実際の工事の流れに沿った施工体験が可能な講習とする。

1日目	2日目	3日目
【建設現場で働くための基礎知識(学科:4時間)】 1. 建設業の役割とその魅力 2. 建築物の主な構造種別 3. 施工の体制と工事の流れ 4. 現場で活躍する専門職種を紹介 5. 建設現場の安全 6. 作業現場に入場する際の注意点 8. 仮設(足場・仮囲い)の共通事項 10. 現場作業の技能の基礎	【鉄筋工事(実習:4時間)】 ・鉄筋工事について ・柱筋組立て実習 【型枠工事(実習:4時間)】 ・型枠工事について ・型枠(柱・梁)の組立て ・支保工	【型枠工事(実習:4時間)】 ・締め付け ・実習用モデル解体 ・清掃 【更新講習総復習(学科:2時間)】 7. 建設現場作業に関する共通事項 9. 工具と材料の共通事項 [認定試験]

○建設産業人材確保・育成推進協議会(人材協)との連携

(1)若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

①人材協が運営するWEBサイトの拡充

建設産業団体、行政機関、建設企業等が個々に広報している若年入職促進等に資する様々な情報に対するリンクや、コンソーシアムが制作したコンテンツ等を掲載すること等により、若年者やその保護者、教育関係者等が建設産業を知る際のポータルサイト(平成25年12月開設)として活用。

随時、コンテンツを拡充(月平均アクセス数:約23,000件)。

【建設現場へGO!】



【18歳のハローワーク】



【建設産業で働く女性がカッコイイ】



「見る」「知る」「働く」をキーワードに建設産業のさまざまな情報を建設産業が一体となって提供

コンテンツの
拡充

(2) 担い手確保・育成に関する情報等の集約及び発信

○担い手確保・育成取組み事例集

- 全国の建設産業団体が実施した担い手確保・育成に資する取組みをWEBサイト上に構築した報告フォームに入力、併せて写真等を登録いただき、事例集を制作。
- 本情報を蓄積の上、関係機関の間で情報共有することにより各機関が実施する取組みの参考となることを目指す。
- (一社)建設産業専門団体連合会の「職人さんミュージアム」等、様々な取組みを紹介している既存WEBサイトとの連携(相互リンク)を図る。

【主な機能】

- ① 担い手確保・育成コンソーシアムホームページ内に、実施した取組みを事例として登録。
- ② 取組み事例別に検索し、絞り込みをすることができる。
(検索方法：キーワード、実施エリア、取組み区分、対象者)
- ③ 取組み事例には、実施した目的や経緯、その内容、資料や写真、助成金の活用状況などを入力、登録することができる。
- ④ 入力した取組み事例は、プリントアウトすることで、事業報告書や団体のPR資料としても活用。

取組み事例集TOP | 取組み事例を探す | 取組み事例一覧 | 事業者ログイン

取
組
事
例

担い手確保・育成に資する 取組み事例を紹介

建設産業担い手確保・育成取組み事例集では、全国の建設産業団体、関係行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が実施した、若年者の入職促進、育成、定着などを推進するためのさまざまな取組みを紹介しています。
建設産業における担い手確保・育成に向けた体制の整備を推進するため、是非とも活用ください。

現在までの登録件数: 300件

取組み事例を探す >

最新の取組み事例

平成27年度 高校生インターンシップ
取組み区分/建設実習・インターンシップ

世界で戦うために 体幹・メンタルトレーニング in 鳴門高潮高校
取組み区分/広報・イベント等
対象/小中学生、高校(工業以外)、短期大学、大学

平成27年度 高校生の建設現場体験セミナー
取組み区分/現場実習・インターンシップ等
対象/高校(工業以外)

平成27年度 高校生の建設現場体験セミナー
取組み区分/現場実習・インターンシップ等
対象/高校(工業以外)

平成27年度 高校生の建設現場体験セミナー
取組み区分/現場実習・インターンシップ等
対象/高校(工業以外)

クリックをすると、更に詳しい情報が閲覧可能

事業の名称	世界で戦うために 体幹・メンタルトレーニング in 鳴門高潮高校	
事例ID	3194	
事業者名	一般社団法人 徳島県建設業協会	
ホームページ	http://www.tokuen.or.jp/	
所在地	〒770-0931 徳島県徳島市富田浜2-10	
電話番号	089-622-3113	
実施エリア	中国・四国エリア 徳島県	実施年度
取組区分	広報・イベント等	対象者
事業の目的	小学生・中学生・高校生などのサッカーチームに所属する子供達等を対象に体幹トレーニング講演会のイメージアップ、入職促進を図る。 一般的には、建設業界とスポーツなどの繋がりはイメージしづらいが実情であるが、固定概念がなく、色々な形で地域社会への貢献活動に取り組むことで、子供やその保護者の建設業に対するイメージ、将来の就職先として建設業が選択肢の一つとなり、入職の促進に繋がることを目的としている。	



○「18歳のハローワーク」みんなで作る建設現場(平成26年8月設置)

- 就職支援コンテンツとして、建設産業の仕事内容を伝えるとともに、各専門職種等について、若手、中堅、熟練工の仕事内容をインタビュー。
- 建設現場における作業内容や、それぞれの専門職種等が連携して建物等ができあがることを伝えるWEB版「施工体系図」を構築。
- 今後、更に内容の充実を予定。

The screenshot displays the 'みんなで作る建設現場' (Everyone's Construction Site) website. The main content is a flowchart titled 'みんなで作る! 建設現場のチームワーク' (Everyone's Construction Site Teamwork). It shows the progression from '着工' (Start of Work) to '完成' (Completion) through various '工程/職種' (Processes/Professions). The flowchart includes stages like '現場監督/監理技術者' (Site Supervisor/Supervising Engineer), '建築士' (Architect), and '基礎工事' (Foundation Work). Below the flowchart, there are detailed descriptions for various jobs: 'とび' (Carpenter), '鉄筋工事' (Reinforcement Work), '大工工事' (Carpentry Work), '外壁工事' (Exterior Wall Work), '屋根工事' (Roofing Work), '電気工事' (Electrical Work), and '設備工事' (Plumbing/Equipment Work). Each job description includes a photo of the worker and a brief overview of their role. To the right of the main flowchart, there are three smaller screenshots showing a 3D model of a building under construction, a detailed view of a construction site, and an interview page for a worker. Red arrows indicate the flow of information from the main content to these detailed views.

建設現場では、建物が完成するまでに多くの工程があり、現場監督や建築士の指示のもと、さまざまな職種の職人がチームワークによって次の工事工程へ進んでいます。ここでは、建物をつくる全体の流れと、それぞれの工事の工程を紹介します。

現場監督/監理技術者(建築施工管理技士等) 現場監督、工程管理、安全管理など、現場全体を掌る仕事です。 **現場を見る**

建築士 設計・図面を作成する仕事です。

基礎工事(土留・コンクリート工事) 「基礎工事」は、建物が立ち上がり、転倒したり、移動したりしないよう、また、建物自身の体自重をしっかりと支えるための基礎を築きます。建物の基礎は、建物を支えるための鍵いで「基礎工事」と「鉄骨工事」に分けられます。

とび 地、屋(はり)、屋根などの建物の主な躯体部分をつくる重要工事。「とび」は、木造、鉄骨造、鉄骨コンクリート造、などがあります。

鉄筋工事 「鉄筋工事」では、基礎工事をはじめ内装、外装など、建物の各部材の工事を行います。

大工工事(木造) 「木造工事」では、骨組みの設置などを行ったり瓦葺き工事や土間工事、塗装工事などの内装仕上げの工事が行われます。

外壁工事 「設備工事」は、主に電気設備工事やキッチン・トイレなどの衛具・設備工事、ほかの設備工事も含まれます。

電気工事 「外装工事」では、屋根や壁面を仕上げる工事が多くあり、美観向上もこの工程で行われます。

設備工事 設備工事

土工事 土工事

基礎工事 基礎工事

とび とび

鉄筋工事 鉄筋工事

大工工事 大工工事

外壁工事 外壁工事

屋根工事 屋根工事

電気工事 電気工事

設備工事 設備工事

「サイトポリシー」
Copyright © 建設産業人材開発・育成推進協議会 All Rights Reserved. 本サイトに掲載されている記事・写真・図面などの転載を禁じます

建物ができるまでの様子、工事の内容をスライドで見ることが出来る。

建物ができるまでの作業を全11工程に分け、仕事の内容を写真でわかりやすく表現(写真は全てクリックで拡大表示)

実際に現場で働く人のインタビューページへリンクします。(写真は全てクリックで拡大表示)

○「建設産業で働く女性がカッコイイ」(平成27年10月拡充)

○女性の入職促進を目指すWEBサイトとして、建設産業で働く女性の姿や女性の活躍を応援している企業等を紹介。
 ○女性も働きやすい現場環境実現のため、取組み事例や女性活躍を応援する先進的な取組みについて紹介したケースブックなども掲載。

The screenshot shows the homepage of the website. At the top, there is a banner with the title '建設産業で働く女性がカッコイイ' and a photo of a smiling woman. Below the banner, there are navigation tabs for '女性の進出を応援', '建設業で働く女性', '女性リーダー', and '女性メディア'. The main content area is divided into several sections: 'PickUP' featuring '女性現場監督の活躍をピックアップ', 'NEWS TOPIC' with a list of recent news items, '女性の進出を応援' with sub-sections for '行政の応援', '建設業団体の応援', and '建設企業の応援', '建設業で働く女性' with a 'GENE sisters' logo, and '女性リーダー' featuring photos of various women.

The screenshot shows the '建設業 女性の活躍応援 ケースブック' website. It features a grid of articles under the heading 'ヨコのつながりをつくろう'. The articles include: '女性が活躍する工事チームの構成', '女性によるワーキンググループを社内に立ち上げ', '関連会社 交流会の開催', '働き方を応援しよう', '保育園送迎の時間帯をフォローするバックアップ体制の整備', 'メンターが女性と現場所長をつなぐ', '妊婦さんの「働きたい!」の声を応援するサテライトオフィス', '人事制度で女性活躍を応援', 'パートナーと共に参加する両立支援セミナー', 'イクボスと女性の交流イベントを開催', '育児・介護休業制度を自社制度に', '経営者の理解', '働きやすい現場をつくろう', '女性専用の仮設トイレを設置', '現場の女性みんなが使える「高セキュリティバウダールーム」の設置', '女性用トイレ、更衣室の配置に工夫', and '女性も働きやすい現場を女性目線でパトロール'.

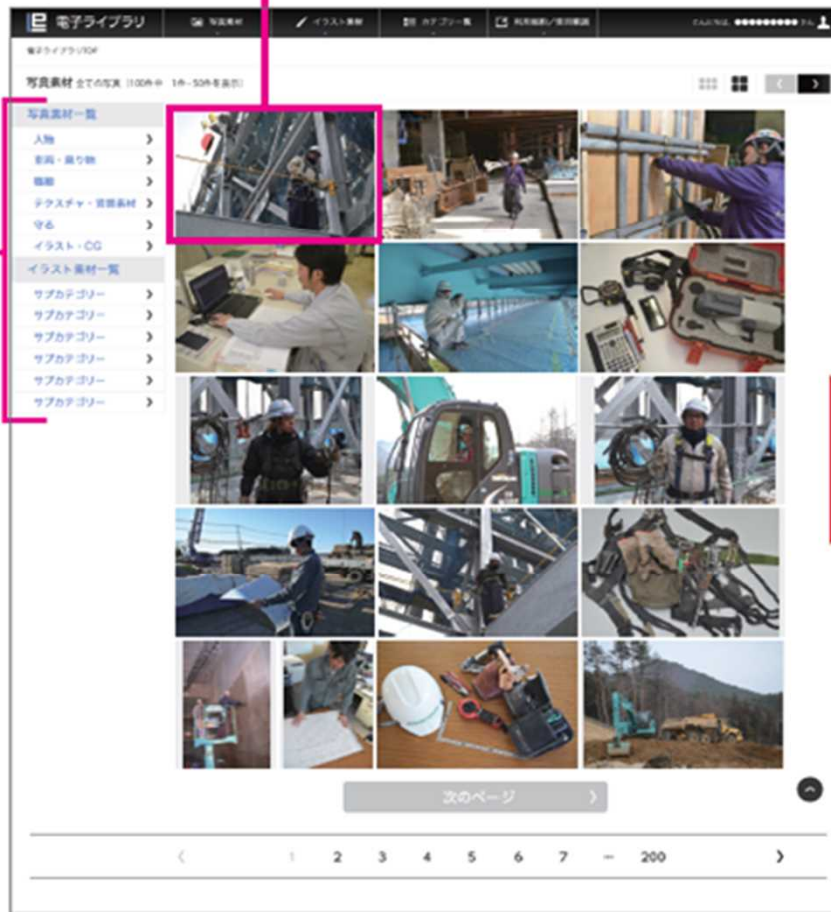


○電子ライブラリー（平成27年12月設置）

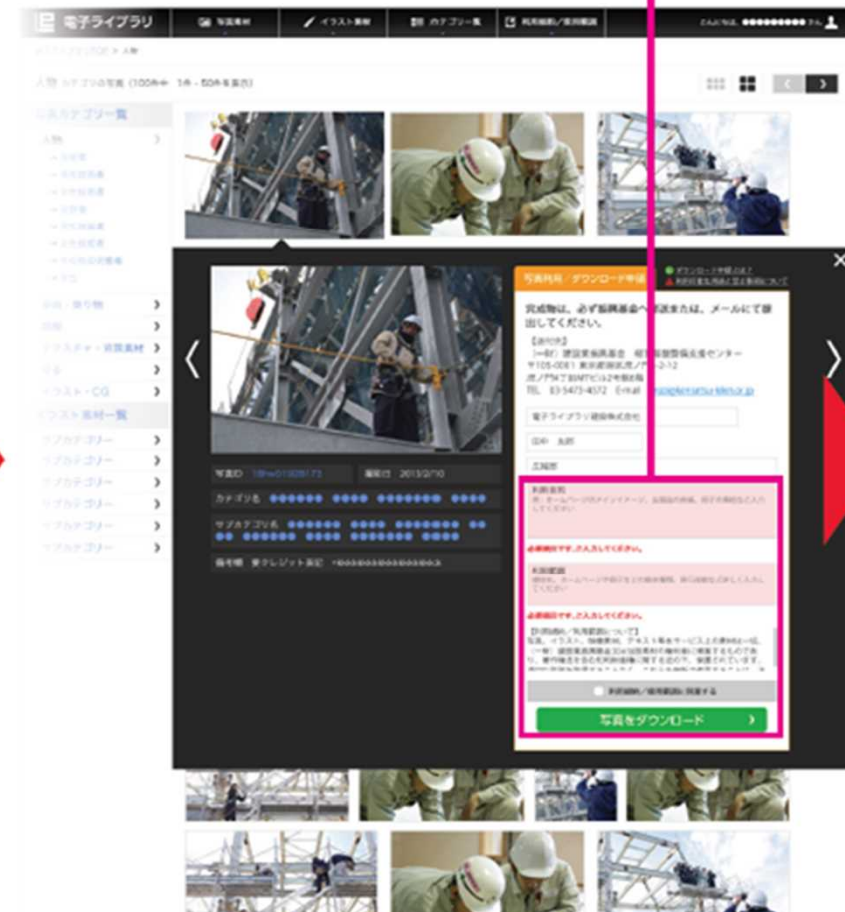
○各建設産業団体等が若年者の入職促進等に係るパンフレットや資料作成等に活用できるよう、建設技術者や技能者、重機等の写真・イラスト等の素材(300件)を著作権フリーで提供する「電子ライブラリー」を構築。
○平成28年度は、写真・イラスト等の素材について、500件程度追加予定。

写真は、職種・作業内容・働いている姿で区分し登録

写真には職種、作業内容、ロケーションなどの属性を記録



必要項目を入力、利用規約に同意いただくことで
写真のダウンロードができます。



写真をダウンロードし、広報に活用

○「メーリングリスト」によるWEBサイト更新情報の発信

「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム専用WEBサイト」や「建設現場へGO!」等の情報更新がされた際に希望者（メールアドレス登録者）に通知（自動メール発信）。

なお、一般向けの情報配信サービスも検討していく予定。

更新情報をメールで通知

新規コンテンツの登録やイベントの案内、ホームページのトピックス等をお知らせします。



建設現場へGO!

更新情報をメールで通知

ホームページのトピックスや、各団体が登録する取り組み事例の更新等をお知らせします。



建設産業 担い手確保・育成コンソーシアム

②その他広報素材の充実

○「ニッポンをつくる人たち まもる人たち」配布部数 約10万部

- ・ 構造物ができる工程に沿ってイラストで紹介したパンフレット。
- ・ 建設業の仕事にかかわる設計士、現場監督である技術者、職人である技能者の仕事内容とそのチームワークについても紹介。

【配布先】

- ・ 行政等（国交省・各地方整備局・都道府県・ハローワーク）
- ・ 建設業団体
- ・ 教育関係（建設系工業高等学校 他）

○「建設業界ガイドブック2016」発行部数 8万部

- ・ 33工事職種の仕事内容を紹介した冊子として、1998年より業界関係者、工業高校等へ広く配布。
- ・ 写真・イラストを多数使用するとともに、職種の説明は、工程順に整理するなど、2016年版では大幅改訂。



○高校等キャラバンの開催

業界・外部有識者・行政が一体となって高校生等にface to faceで建設業の役割や魅力などを直接語りかけ交流する高校等キャラバンを開催。平成26年は関東の工業高校を対象として実施。

平成27年度は、工業高校に加えて、普通科高校、小・中学校で実施。

【平成28年度実施状況】

地区	学校名	学科名	対象学年	開催日	協力団体等
東京	東京都立 葛西(かさい) 工業高等学校	建築科	2年生 39名	4/27(水)	(株)JM
埼玉	さいたま市立 大宮西(おおみやにし) 中学校	—	1年生 138名 2年生 161名 (計299名)	8/31(水)	—
千葉	千葉県立 安房拓心(あわたくしん) 高等学校	総合学科 土木系列	2年生 25名	11/30(水) (予定)	千葉県鉄筋業協同組合 (予定)
埼玉	さいたま市立 大谷口(おおやぐち) 小学校	—	6年生 94名	1/21(土) (予定)	(株)JM 大和ハウス工業(株) (予定)



【参考:平成27年度実施状況】

地区	学校名	学科名	対象学年	開催日	協力団体等
埼玉	さいたま市立 新和(にいわ)小学校	—	6年生 27名	10/26(月)	関東地方整備局 (公社)土木学会
	さいたま市立 春里(はるさと)中学校	—	1年生 260名	10/31(土)	関東地方整備局 (公社)土木学会 (一社)埼玉県左官業協会 (株)アキュラホーム 大和ハウス工業(株)
	埼玉県立 春日部(かすかべ) 工業高等学校	建築科	2年生 75名	2/3(木)	(株)JM
	埼玉県立 鳩山(はとやま) 高等学校	普通科	2年生 53名	2/18(木)	—
情報管理科		2年生 42名			



●建設産業担い手確保・育成に関する取り組み事例データベース
(平成28年12月現在の登録数:約325件)

建設産業における人材確保・育成等の各団体の取組みについて、昨年度より、本財団に設置したWEBサイトから各団体の活動を報告頂き、事例データベースとして取りまとめている。

他団体の最新の取組み状況がWEB上でタイムリーに確認できるなど、各団体において、今後の活動の参考にして頂くとともに、一般の方々に対する団体のPRにも繋げている。



②その他

建設産業人材確保・育成推進協議会 全国担当者会議の開催

毎年度、人材確保・育成における都道府県建設業協会等の担当者を対象とした会議を開催。

各地域における入職者確保・促進などの取組みについて、情報の共有化を図るとともに、各地域における取組み強化を支援。



作文コンクールの実施

建設業の従事者を対象とした「私たちの主張」及び工業高校の建築学科及び土木学科の在校生を対象とした「高校生の作文コンクール」を実施。



担い手確保・育成に関する事業説明会の開催

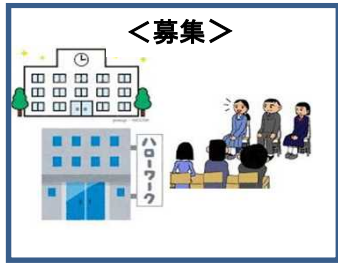
国土交通省、厚生労働省、法務省における担い手確保・育成に関する取組みについて、専門工事業団体などに説明



○建設労働者緊急育成支援事業との連携

(1) 事業の概要

全国各地において、未就職者等の建設業への入職を促進するため、当基金に中央拠点を設置するとともに、地域の総合建設業団体、専門工事業団体、職業訓練校等に地方拠点を設置し、求職者の「募集・職業訓練・就職斡旋」をパッケージ(以下、「パッケージ業務」)により実施する。



<募集>

- 中央拠点では、地方拠点と連携の上、求職者を募集するため以下のような広報等を実施
 - ・ハローワークとの連携による募集
 - ・ポスター、チラシ等の配布
 - ・建設業団体会員企業における縁故採用等の情報収集
 - ・定時制高校教員等との情報交換
 - ・合同就職説明会の実施
 - ・新聞、FM放送、フリーペーパー等の活用



<職業訓練>

- 中央拠点では、富士教育訓練センターにおいて重機オペレーター、躯体や内装系技能者の職業訓練をオーダーメイドにより実施するとともに、首都圏において、定時制高校生等を対象とした通学型の職業訓練等、2コースを実施
- 地方拠点では、それぞれが状況に応じて、地域の既存の職業訓練校へ委託する方法や、地元の公共職業訓練施設等を借りて実施する方法等により訓練を実施



<就職支援>

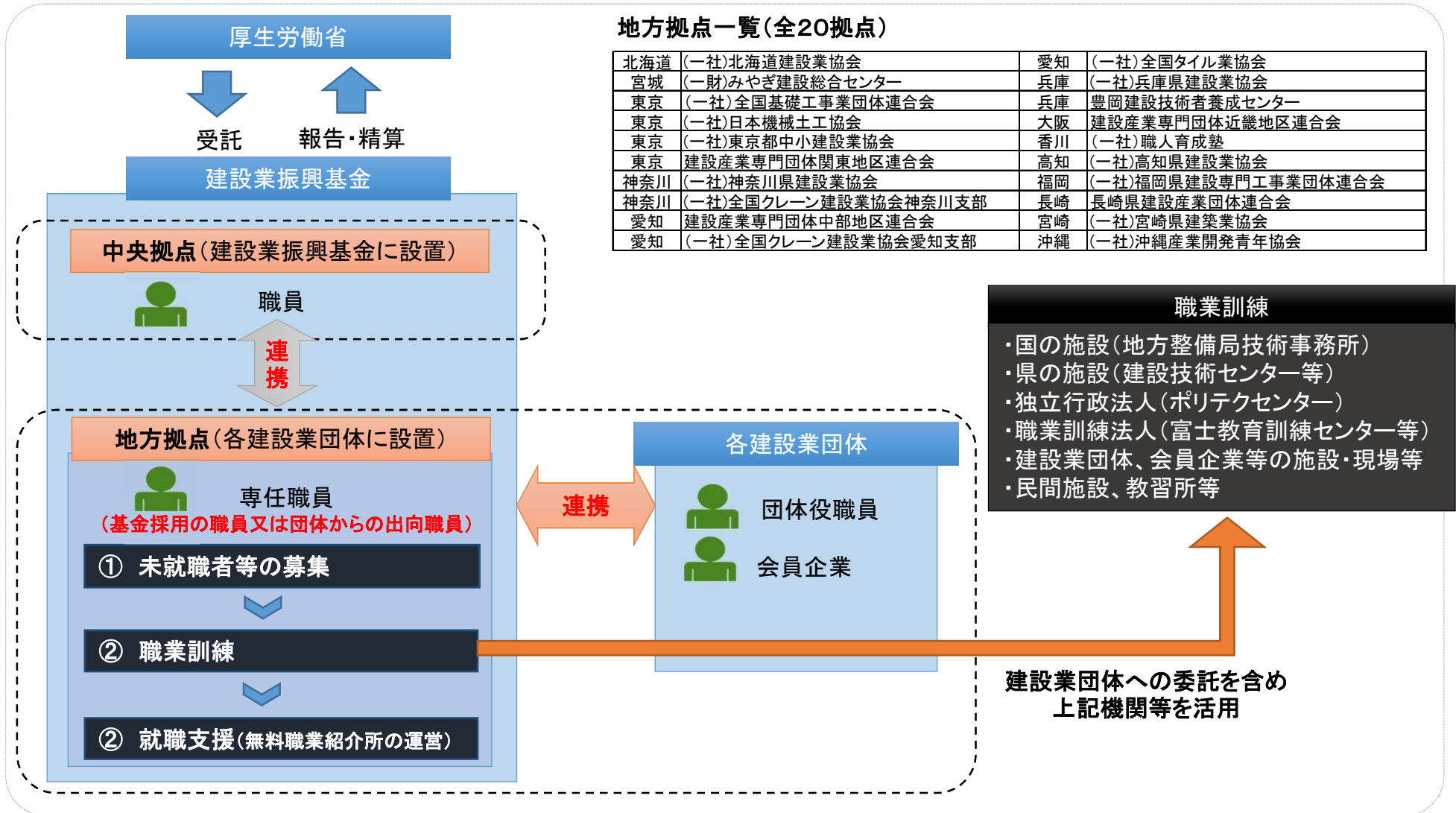
- 地方拠点設置団体をはじめ、当基金が連携している建設業団体の会員企業を主な対象として就職支援を実施。その他、ハローワーク等との連携により、建設業への入職希望する者については、可能な限りマッチングに努める。

- 厚生労働省所管の5年間時限措置の事業
- 平成27年度 事業予算:約6億円
- 目標:募集600名、訓練修了生360名、入職者252名
- <参考>
 - 平成28年度 事業予算:9.2億円、目標:1,000名
 - ※平成28年度においても当財団が受託

平成27年度 実施状況 (平成28年6月30日現在)

- 拠点設置状況
中央拠点:(一財)建設業振興基金、地方拠点:建設産業団体等16ヶ所
※H28年度は新たに4拠点追加の20ヶ所
- 訓練コース設置状況 全53コース/定員704名
- 訓練参加者数 556名
- 訓練修了者数 539名(96.9% (4)÷(3))
- 就職者数..... 419名(77.7% (5)÷(4))
(内、訓練修了後3ヶ月以内に就職した者386名)
- 各拠点の実習等における活用施設
 - ①国の施設(地方整備局技術事務所)..... 3コース(2ヶ所)
 - ②県等の施設(建設技術研究センター等).....10コース(4ヶ所)
 - ③独立行政法人の施設(ポリテクセンター)..... 6コース(2ヶ所)
 - ④職業訓練法人等の施設(富士教育訓練センター等)・26コース(6ヶ所)
 - ⑤建設業団体・会員企業等の施設・現場.....18コース
 - ⑥民間施設・教習所等の施設(建設業団体が実施する技能講習等含む).....28コース

建設労働者緊急育成支援事業における中央拠点・地方拠点の連携イメージ



地方拠点一覧(全20拠点)

北海道	(一社)北海道建設業協会	愛知	(一社)全国タイル業協会
宮城	(一財)みやぎ建設総合センター	兵庫	(一社)兵庫県建設業協会
東京	(一社)全国基礎工事業団体連合会	兵庫	豊岡建設技術者養成センター
東京	(一社)日本機械土工協会	大阪	建設産業専門団体近畿地区連合会
東京	(一社)東京都中小建設業協会	香川	(一社)職人育成塾
東京	建設産業専門団体関東地区連合会	高知	(一社)高知県建設業協会
神奈川	(一社)神奈川県建設業協会	福岡	(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会
神奈川	(一社)全国クレーン建設業協会神奈川支部	長崎	長崎県建設産業団体連合会
愛知	建設産業専門団体中部地区連合会	宮崎	(一社)宮崎県建築業協会
愛知	(一社)全国クレーン建設業協会愛知支部	沖縄	(一社)沖縄産業開発青年協会

平成27年度 職業訓練コース一覧

中央拠点	コース名	訓練日数	各回定員	訓練場所
(一財)建設業振興基金	重機オペレーターコース(全5回)	約2週間	12	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会 (富士教育訓練センター)
	躯体系技能者(建築)コース(全2回)	約2週間	12	
	土木系技能者コース(全1回)	約2週間	12	
	仕上系技能者(内装)コース(全2回)	約2週間	6	
	仕上系技能者(内装)コース(全2回)	約2週間	15	高度ポリテクセンター IHI技術教習所 東京センター
地方拠点(16ヶ所)	コース名	訓練日数	各回定員	訓練場所
(一社)北海道建設業協会	躯体系技能者(土木)コース(全1回)	約1ヶ月間	15	(公社)日高地域人材開発センター運営協会 キャタピラー教習所(北海道教習センター) 浦河自動車学校
	躯体系技能者(土木)コース(全1回)	約1ヶ月間	10	(公社)上川北部地域人材開発センター運営協会 日立建機教習センター北海道教習所(旭川) 名寄自動車学校/道北自動車学校
(一財)みやぎ建設総合センター	躯体系技能者(建築・土木)コース(全3回)	約2週間	10	ポリテクセンター宮城 日立建機教習センター宮城教習所 東北地方整備局東北技術事務所
全国基礎工業協同組合連合会	基礎杭作業員コース(全2回)	約1週間	10	連合会館 IHI技術教習所 東京センター
	杭打ち機オペレーターコース(全2回)	約2週間	10	連合会館/全国基礎工業協同組合連合会会員企業 IHI技術教習所 東京センター 日本車輛製造(株)技術教習所
(一社)東京都中小建設業協会	建設工事基礎コース(全2回)	約2週間	15	(一社)東京都中小建設業協会 (一社)東京都中小建設業協会会員企業現場 コマツ教習所(神奈川センタ)
(一社)神奈川県建設業協会	躯体系技能者(型枠・鉄筋)コース(全1回)	約1ヶ月間	15	(一社)神奈川県建設業協会 神奈川県立産業技術短期大学校 (一社)神奈川県建設業協会会員企業現場 富士教育訓練センター

地方拠点(16ヶ所)	コース名	訓練日数	各回定員	訓練場所
(一社)全国クレーン建設業協会神奈川支部	クレーンオペレーター(ビギナー)コース(全2回)	約40日間	10	クレーンメーカー工場/ 神奈川建設重機協同組合会員企業モータープール サンピアかわさき 富士教育訓練センター KANTOモータースクール/湘南センチュリーモータースクール IHI技術教習所(神奈川センター)/コマツ教習所(神奈川センタ)/コマツ教習所(東京センタ)
	クレーンオペレーター(マスター)コース(全2回)	約40日間	10	サンピアンかわさき/クレーンメーカー工場/神奈川建設重機協同組合会員企業モータープール
(一社)日本基礎建設協会/(一社)日本機械土工協会	建設機械オペレーター(土工)コース(全2回)	約2ヶ月間	15	職業訓練法人静岡県建設業能力開発協会
建設産業専門団体関東地区連合会	躯体系技能者(とび土工)コース(全1回)	約2ヶ月間	15	職業訓練法人静岡県建設業能力開発協会
建設産業専門団体中部地区連合会	建設業基本技能コース(全2回)	約1週間	10	中部地方整備局中部技術事務所
	建設機械オペレーターコース(全1回)	約1週間	10	住友建機教習所
(一社)兵庫県建設業協会	躯体系技能者(型枠、鉄筋、とび土工)コース(全2回)	約1ヶ月間	15	三田建設技能研修センター
建設産業専門団体近畿地区連合会	躯体系技能者(型枠、鉄筋、とび土工)コース(全2回)	約1ヶ月間	15	三田建設技能研修センター
(一社)高知県建設業協会	土木系技能者講習(全1回)	約1ヶ月間	10	(一社)高知県建設業協会
				三田建設技能研修センター
				高知県労働基準協会連合会 建設業労働災害防止協会高知県支部
(一社)福岡県建設専門工事業団体連合会	躯体系技能者(建築)コース(全1回)	約1週間	10	
長崎県建設産業団体連合会	躯体系技能者(鉄筋)コース(全2回)	約2ヶ月間	15	(公財)長崎県建設技術研究センター 長崎県建設産業団体連合会会員企業現場 (一社)日本クレーン協会長崎支部 佐世保地区
	建設技術者コース(全1回)	約1週間	20	
(一社)宮崎県建築業協会	躯体系技能者(とび、型枠、鉄筋)コース(全1回)	約1ヶ月間	10	宮崎県技能検定センター キャタピラー九州株式会社 宮崎教習センター
	仕上系技能者(内装)コース(全1回)	約1ヶ月間	5	
(一社)沖縄産業開発青年協会	躯体系技能者(型枠、鉄筋、足場)コース(全2回)	約3ヶ月間	40	(一社)沖縄産業開発青年協会
	設備系技能者(管工事、弱電工事、給排水衛生工事)コース(全1回)	約3ヶ月間	20	

(2) 主な取組事例

平成27年度 取組事例 [(一財)みやぎ建設総合センター]

実施コース: 躯体系技能者(建築・土木)コース

訓練場所

[座学・実習] ポリテクセンター宮城(多賀城市)

国交省東北地方整備局東北技術事務所

[資格取得] 日立建機教習センター宮城教習所

※上記3施設はいずれも近接

座学・実習講師:(一社)東北広域技術技能連合会 等

訓練期間: 10日間～18日間

第1回: 平成28年1月12日～1月30日

第2回: 平成28年2月 1日～2月20日

第3回: 平成28年3月 3日～3月10日

取得可能資格

- ・足場の組立て等特別教育
- ・丸のこ等取り扱い作業従事者安全衛生教育
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・車両系建設機械運転技能講習



平成27年度 取組事例 [長崎県建設産業団体連合会]

実施コース: 躯体系技能者(鉄筋)コース

訓練場所

[座学・実習](公財)長崎県建設技術研究センター
[資格取得](一社)日本クレーン協会長崎県支部

座学・実習講師: 長崎県鉄筋工事業協同組合 等
※講師1名は、富士教育訓練センターの「講師養成
のための実習プログラム」を受講

訓練期間: 約2ヶ月間

第1回: 平成27年11月16日～平成28年1月15日

第2回: 平成28年2月1日～3月31日

取得可能資格

- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・床上操作式クレーン運転技能講習



(3) 建設労働者緊急育成支援事業 求職求人支援システムについて

本事業(厚生労働省所管)は、建設業の担い手を確保するため、全国で建設業への就職を希望する求職者(建設業未経験者を含めた未就職者・離転職者等)を募集し、建設業において必要とされる職業訓練、資格取得を無料で実施した上で、建設企業に就職を斡旋するものです。

4/1から
スタート

本システムを利用する企業の方へ

平成27年度は、現在、約600名が本事業の訓練を修了または修了見込みとなっています。採用を検討している企業においては、以下のWEBサイトより当該訓練修了生を対象とした求人申込(求人票の登録)ができます。求人申込後は、求人企業情報を訓練修了生に提供し、訓練修了生が就職を希望した場合には、事務局より当該求人企業にその旨を連絡するものです。

WEBサイト <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/>

① 訓練修了生の概略情報を紹介

訓練修了生の概略情報を掲載

※年代、希望勤務地、希望職種、保有資格等の情報

全国の各エリアから紹介

② 求人の申し込み

③ 訓練修了生と求人企業のマッチングします。

マッチングの進め方



求人情報を求職者へ提供

求職者が就職を希望した場合は求人企業に通知

求職者・求人者の面談等

当事者間で採用の可否、入職の条件などを検討する



採用